

NUTANIX

CXO Focus

エンタープライズの リスクを回避する

BroadcomによるVMwareの買収を受け、
CXOはどうナビゲートすべきか

BroadcomによるVMwareの買収を受け、CXOはどうナビゲートすべきか

重要なITベンダーによる値上げ、イノベーション不足、そしてサポート削減の可能性を高める報道は、CIOやその他の経営幹部レベルの役員 (CXO) にとって全く無視することのできないリスクを示しています。

BroadcomによるVMwareの買収を受け、VMwareの顧客の多くは、こうしたリスクに直面しながら切迫感と不安を募らせています。CXOにとっては、IT投資を批判的に再評価し、将来的にエンタープライズを確実に盤石化できるモダンプラットフォーム導入の必要性が問われる、決定的瞬間となっています。

相当なリスクが存在する一方で、リスク回避に向けた選択肢は存在します。VMwareのユーザーにとっての選択肢には、モダンプラットフォームでの新たなワークロードの実行、クラウドへ拡張することで得られる拡張性とイノベーションの活用、および/または進化するエンタープライズニーズに最も合致するプラットフォームを目指してレガシーインフラストラクチャーを変換すること、などが含まれます。

先見の明があるCXOは、この移行期間をただリスク低減に費やすわけにはいきません。現在は、自社のIT資産を再考し、幅広いクラウドおよび仮想化ソリューションを検討して、デジタル時代の持続的成功に向けて自社の準備を進めるチャンスでもあります。

モダンプラットフォームでの 新たなワークロードの実行

Nutanixクラウドプラットフォームなどのモダンプラットフォーム上で新たなワークロードやアプリケーションを実行できれば、CXOとそのIT組織は次の2つの重要な目標を達成できます:

1. **必要に応じて**、自社のVMwareコミットメント、コスト、導入を抑制する。
2. **より予測可能かつ柔軟な**ハイパーコンバージドインフラストラクチャーベースのプラットフォーム上で、新しいモダンワークロードと既存ワークロードの新規インスタンスを構築して実行する。

Nutanixは、BroadcomによるVMware買収後の状況への対応を余儀なくされているVMwareユーザー向けに、実現可能かつ優れたプラットフォームを提供します。特に、Nutanixクラウドプラットフォームは、現代のモダンエンタープライズとモダンアプリケーション向けに完璧に設計された、セキュアで回復力のある自己修復環境を提供します。

さらに、Nutanixプラットフォームは、性能、コスト、およびデータ主権要件を考慮しながら、クラウドとオンプレミスにまたがるアプリケーションとデータの容易な移動を可能にする、アプリケーション、データ、およびライセンスポータビリティにも秀でています。

また、Nutanixのプラットフォームは、ハイブリッド マルチクラウド環境にまたがる統合管理やあらゆる場所におけるシームレスな運用を提供するほか、データセンター、クラウド、エッジ環境の管理を簡素化できます。さらに、ネットプロモータースコア(NPS)は常に90を超えていることから、Nutanixに対する顧客満足度の高さは明らかです。

クラウドへの拡張

Nutanixが提供する変革的アプローチは、コントロール、効率性、適応性に重点を置いた上で、ワークロードとアプリケーションのクラウド移行を著しく簡素化できます。

Nutanixは、パブリッククラウドインフラストラクチャーの構築プロセスを合理化します。Nutanixは、リファクタリングを必要とすることなく、アプリケーションとワークロードのクラウドへの移植性を促進できます。このため、クラウドマイグレーションに必要なコストと労力を最小限に抑えることができます。さらに、Nutanixは最新のハイブリッド・マルチクラウドプラットフォームによりワークロードの容易なモビリティを実現し、さらにパブリック、プライベート、およびハイブリッドクラウドを含めた多様なマルチクラウド環境にまたがるライセンスの効率的な管理と移植性を実現します。

複数のパブリッククラウドの使用を検討中の経験豊富なCXOは、アプリケーションのリファクタリングまたは再構築が必要となるかどうか、確認しなくてはならないことを理解しています。なぜなら、アプリケーションのリファクタリングと再構築は、当初の予定よりもプロジェクトの期間を長期化させることになり、開発チームに想定外の負担がかかるためです。

この点に対し、Nutanixはチャージバックと予算編成機能を備えた、パブリッククラウド支出への包括的な可視性を提供する一元管理プラットフォームで対処します。これによって、リファクタリングを必要とせずにオンプレミス環境とパブリッククラウド間のアプリケーションの移行が可能となり、シームレスでガバナンス機能が向上したクラウドマイグレーション体験を提供できます。

インフラストラクチャーを変換する

CXOにとって最重要視される責任は、エンタープライズITインフラストラクチャーを堅牢かつ将来に対応できるようにすることです。こうした理由から、統合されたエンタープライズグレードのAHVハイパーバイザーを備えたNutanixクラウドプラットフォームに、自社のVMwareインフラストラクチャーを変換するエンタープライズが増えています。

VMwareおよびレガシーインフラストラクチャーからの変換を決めた組織に、Nutanixはモダンプラットフォーム内のあらゆるワークロードに適した同種の機能を提供します。

ワークロードのサイジングと移行を促進できるよう、Nutanixは包括的なマイグレーションツールキットと共に、自社と認定パートナーを通じて専門的なマイグレーションサービスも提供します。こうして、ワークロードの迅速かつ効率的な移行が可能となります。

Nutanixと認定パートナーは、エンタープライズが業務を期待通りに素早く進められるよう、トレーニング、ブートキャンプ、認定プログラム、そして無料お試し版のTest Driveも提供しています。すぐにクラウドインフラストラクチャー管理とセキュリティに対するNutanixの1-クリックアプローチが、新しいプラットフォームの習得および使用を想像以上に容易することに気付くことでしょう。

CXOはNutanixハイブリッド マルチクラウドプラットフォームでエンタープライズのリスクを回避できる

VMwareの顧客が直面しているこの不確実な情勢において、CXOは、実行可能な選択肢があり、戦略的パートナーがこれらの課題を解決するために利用可能であることを認識することが重要です。Nutanixは、単に代替手段としてではなく、インフラの耐障害性と将来への備えを向上させたいと考えているCXOや企業にとって重要な味方として際立っています。

詳しくは、以下をご覧ください: www.nutanix.com/cxo



contact-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp | [@nutanixjapan](https://twitter.com/nutanixjapan)

©2024 Nutanix, Inc.無断転用は禁止されています。本文書に記載された、Nutanix、Nutanixのロゴ、およびNutanixのその他全ての製品、提供機能、およびサービス名は、米国およびその他の国においてNutanix, Inc.の登録商標または商標となります。Nutanix, Inc.は、VMware by BroadcomまたはBroadcomと提携していません。本書に記載されているVMwareおよびさまざまなVMwareの製品名は、米国およびその他の国におけるBroadcomの登録商標または商標です。本文書に記載された、その他のブランド名は、識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。本文書内に含まれる一部の情報は、調査、発行物、アンケート、および第三者の情報源および当社が独自に行った社内での予測・研究におけるその他のデータに関連するか、これに基づいています。こうした第三者による調査、発行物、アンケート、およびその他のデータは本書の投稿時点で信頼性があるものの、独自には検証されておらず、当社は第三者の情報源から取得した情報の適性、正確性、または完全性に関して一切の表明を行いません。COR-VM-De-RiskYourEnterprise-CXOsNavigateVMwareAcquisition-Whitepaper-FY24Q4_ja-JP_11202024